

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和4年6月号）

令和4年6月1日

5月15日（日）は、くもり 気温20度と格好の野良仕事日和。花の香りがただよう中で、7人のボランティアが南口「みんなの庭」の草取り・清掃に精出しました。

6月の活動日は12日（日）08:30~10:00（暑いので30分繰り上げ）。

冬～春花を取り除き、夏～秋花に植え替えます。7月の活動日は17日（日）の予定です。

〇トピックス：

— 5月16日（月）に高知市みどり課を訪問しました。去年枯死した南口電停脇のヤシの木の跡地に、NHK連続テレビ小説「らんまん」（モデル牧野富太郎博士）の来春放送開始を記念して、サクラを植えるアイデアについて話し合いました。（P2に関連記事）

— 南口「みんなの庭」の花だよりです。



高知市花いっぱい会ご提供の
ユリが開花しました。



珍しいアジサイです。



ペチュニアでしょうか。

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ： <http://mori-kochi-ekijimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志^{ナカタマサシ}」名義 普通 0709695

駅前に 牧野博士が愛した「仙台屋桜」を植えよう

－NHK 連続テレビ小説（朝ドラ）「らんまん」放送記念植樹－

牧野富太郎博士の生涯を題材にした NHK 連続テレビ小説「らんまん」の来春放送開始が発表されて以来、県内各地で博覧会などいろんな記念イベントが計画されているようです。

博士の出身地は佐川ですが、高知市も浅からぬ縁があります。牧野植物園建設の場所としてだけでなく、若き博士が修学のため青春の一時期を過ごしています（注）。

そういうわけで、高知市の陸の玄関高知駅の正面に、博士が愛したサクラの記念植樹を提案したいと思います。駅前からは五台山・牧野植物園行きの「MY 遊バス」も出ていることですし。

（注：17 歳のころ高知に遊学、漢学塾「五松学舎」での勉強はそこそこに、師範学校の永沼小一郎先生から植物学の個人教授を受けた。＝『牧野富太郎自叙伝』より）

サクラ好きの博士がとりわけ愛した「仙台屋桜」（右写真）は、『牧野富太郎博士からの手紙』（高知新聞社刊）によると、「佐伯さんという人が仙台から移住してきて、中須賀で仙台屋という屋号で商売を始めたのですが、其の屋敷の庭へ移植した桜です。花の色が濃くて美しく、開花時期には山内家に差し上げたと言われていました。近くの住民が花が美しいので〈仙台屋の桜〉と名付けました。」との由来があります。

いまは苗が希少だそうです植樹の第一候補です。



博士が愛した「仙台屋桜」
（牧野植物園ホームページより）

ちょうど、去年枯れたカナリーヤシ（写真）の跡が空いていますので、格好の植樹場所です。（高知市民の木「センダン」などをお伴に植えたら、いい組み合わせとなるでしょう。）

以上



植樹候補の空地（高知駅南口
とさでん引き込み線脇）



枯死したありし日のシンボルツリー
「カナリーヤシ」＝写真右端